

疫学研究のお知らせ

当科では下記の研究を行っております。

研究課題名：転移性脳腫瘍に対する放射線療法の治療成績・有害事象に関する後ろ向き解析

研究の目的：転移性脳腫瘍に対する放射線療法として脳全体に放射線を照射する全脳照射と、腫瘍に限局して放射線を集中的に照射する定位放射線照射などが用いられており、当院では全脳照射・定位放射線照射の双方を用いて転移性脳腫瘍に対する治療を行っています。本研究ではこれまで当院で行ってきた転移性脳腫瘍に対する放射線療法を後ろ向きに解析し、よりよい治療法の開発に役立てることを目的としています。

研究の方法：1985年1月から2014年6月までに転移性脳腫瘍に対する放射線療法を行った患者さんの診療録と治療計画データを解析します。基本的にすべて既存の記録・データベースを用いますので、新たに患者さんにご負担をいただく予定はございません。本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院 医の倫理委員会の承認を得て実施されています。

研究成果発表：学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

問い合わせ先：本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

研究事務局

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

溝脇 尚志

電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749